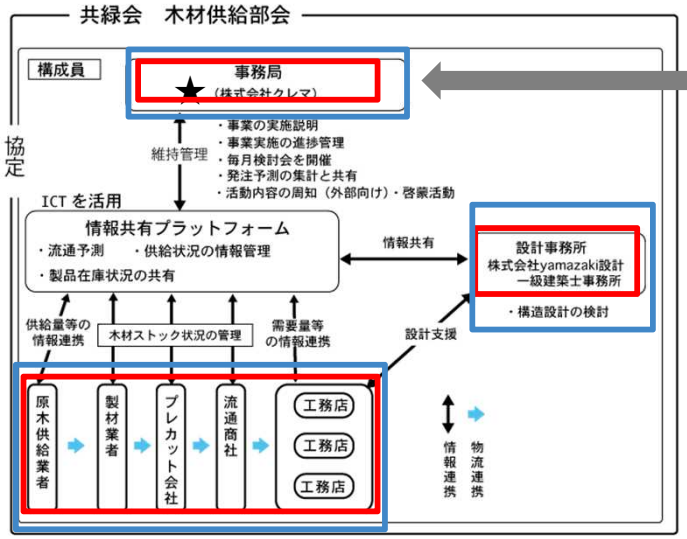
令和4年度　木材供給安定化計画　周辺地域を巻き込んだネットワーク「３ハイウェイサプライチェーン」を構築

共緑会　木材供給部会

1. 全体概要

グループ代表者：有限会社佐々木工務店　代表取締役　佐々木　正史
★事業責任者　　：株式会社クレマ　代表取締役　國松　隆夫



株式会社スパーク
（外部事業コンサルタント）

補助事業者（提案書に記載の者）

青で囲んだ者のうち、システムを使用する者

★取組の中心となっている者

▸ 参画している会社　※（　）内は役割

- 有限会社佐々木工務店（工務店）
- 株式会社Ｓ＆Ｇハウジング（工務店）
- 株式会社アイビ建築（工務店）
- 大協建設株式会社　（工務店）
- 田中建設有限会社（工務店）
- 株式会社総合建築幸工房（工務店）
- ★株式会社クレマ（建築資材販売・現場納材）
- 株式会社山西（プレカット）
- 松阪木材株式会社（総合木材販売業[素材・製品材の市売業、木材製品の小売・卸売業等]）
- ウッドピア市売協同組合（原木市売事業）
- 株式会社yamazaki設計　一級建築士事務所　（構造材設計シュミレーション）

2. 取組の背景、地域の課題

2021年のウッドショックによる資材高騰と不安定な供給状況に起因するが、そもそもは原木生産に対する林業の担い手不足と流通体制の脆弱さが課題の本質として焦点を当てている。

3. 取組の概要、成果

○概要　近畿から東海までの地域を巻きこむサプライチェーンを構築し、関連業社との協定締結、流通量の情報供給を実施。
○成果　半年先の資材の安定確保と価格安定を実現。
○効果検証について
【メリット】協定締結により、工務店までの流通の安定が実現。機械等級認証・合法認証による品質の安定と向上。
【デメリット】国産材であるが故に、原木の歩留まりの悪さがある。在庫品目の少なさ。

4. 今後の取組、課題

課題1　ICT システムを活用した流通の管理と情報の蓄積を行い、長期的な流通量の未来予測。
課題2　一元化されたトレーサビリティ情報を有効活用できる参画工務店の増強と持続。
課題3　構造設計からのサポートによる事例の増加。